

令和7年度 小・中学校における環境教育の取組み

総合的な学習の時間（第5学年）

テーマ【やまだ EXPO 食について考えよう】

太子町立山田小学校

《学習のねらい》

- ・食に関わる問題や食の大切さを学び、探究的な見方・考え方を主体的に発信する力を育てる。
- ・食品ロスをテーマにパピリオン形式の発表を通して、協働的・創造的な学びを体験する。

《学習の流れ》

実施時期 6月 ～ 10月

	学習活動の主な内容	指導のポイント
5h 総合的な学習の時間	【導入・関心喚起】 ・米の産地調べ、田植え体験 ・食品の産地調べ、食から日本を考える ・食品ロスについて知る ・「食」についての関心や疑問を出し合う ・一週間の「家庭での食品ロス」調べ	■社会科の学習を振り返り、今後の課題を設定することができるようにする。
5h 総合的な学習の時間	【テーマ決定・グループ分け】 ・パピリオン発表のイメージ共有 ・「食品ロスを減らせ大作戦！～めざせアップサイクル商品企画～」 ・グループごとに探究計画を立てる	■グループごとにオリジナルテーマを設定し、探究的に学べるようにする。
5h 総合的な学習の時間	【まとめ・発表準備】 ・調べたことや体験などをふまえて、プレゼンテーションの準備をする。 ・発表資料（CM・スライド）作成 ・ブース装飾やクイズ、体験コーナーの準備 ・説明練習やロールプレイ	■ネット、インタビュー、体験活動など多様な調べ方を取り入れるようにする。
1h 総合的な学習の時間	【発表】 ・パピリオン発表会 ・教室に各ブースを設置、他学年、保護者、地域の方を招いて発表	■表、グラフ、スライド、体験型コーナーなど多様な方法でわかりやすい発表となるよう工夫させる。
1h 総合的な学習の時間	【振り返り・まとめ】 ・感想カードやアンケートで学びを共有 ・次への課題や日常生活への活かし方を考える	■振り返りで学びと課題を共有し、次につなげる。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

田植え体験（太子町・山田小学校学習農園協力隊の皆様）

『食から日本を考える。』ニッポンフードシフトムービー』ニッポンフードシフト

《成果》

- ・生活になじみ深い「食」について深く考え、自ら食品ロスをなくす動きを意識する児童が増えた。
- ・自分たちの発表に誇りを持ち、「学外の多くの方にも聞いてほしい」と自信につながった。